

エコ農業学校参加者募集！

県では化学肥料や化学合成農薬を減らした農業に取り組みたい、もしくは取組をさらにレベルアップしたい生産者、また、エコ農産物の販売や飲食店での活用をお考えの実需者を対象に、環境にやさしい農業(エコ農業)の技術習得や販売先のニーズ等について知識を深めるための「エコ農業学校」を開催します。

第1回(対象：生産者) 終了しました

ねらい：環境にやさしい農業技術の向上

日時：平成30年8月23日(木) 13:30～16:20

場所：青森県営農大校

内容：①講演 緑肥作物の導入で省力・低コストの野菜づくり

講師：NO-RA～農楽～ 千葉康伸 氏

②事例発表：三八地域県民局におけるながいもの輪作体系に関する調査結果

③現地ほ場見学及び情報交換

取組紹介：成田勝敏 氏(七戸町)

第2回(対象：生産者、販売店や飲食店等実需者) 終了しました

ねらい：エコ農産物の販売促進

日時：平成30年12月11日(火) 13:30～16:00

場所：青森県観光物産館アスパム 8階 しらかみ

内容：①講演 生産者のネットワークで環境にやさしい農産物の販売拡大

講師：(株)マルタ 代表取締役 佐伯昌彦 氏

②講演 持続可能な農業のこれから。坂ノ途中とfarmOの取り組みを例に

講師：(株)坂ノ途中 代表取締役 小野邦彦 氏

第3回(対象：生産者) 募集中！(詳細は裏面)

ねらい：環境にやさしい農業技術の向上

日時：平成31年2月13日(水) 13:30～15:30

場所：青森県観光物産館アスパム 8階 しらかみ

内容：① 講演 環境にやさしい果樹づくりの実践に向けて

【りんご編】りんご研究所 総括研究管理員 木村佳子 氏

【ぶどう、もも、なし編】りんご研究所県南果樹部 主任研究員 對馬千佳子 氏

② 取組紹介：北上俊博 氏の取組(五戸町、特別栽培りんご)

【申込み・問合せ先】

青森県農林水産部 食の安全・安心推進課 環境農業グループ

住所 〒030-8570 青森県青森市長島1-1-1

電話 017-734-9353(直通) FAX 017-734-8086

メールアドレス SANZEN@pref.aomori.lg.jp



皆様の御参加をお待ちしています！

第 3 回講座開催内容

- 日時：平成31年2月13日(水) 13:30～15:30
- 場所：アスパム8階 しらかみ(青森市安方1-1-40 TEL 017-735-5311)
- 内容：

① 総合的病虫害・雑草管理(IPM)について 食の安全・安心推進課

② 「環境にやさしい果樹づくりの実践に向けて」

講師：地方独立行政法人 青森県産業技術センター

【りんご編】りんご研究所 総括研究管理員 木村佳子 氏

【ぶどう、もも、なし編】りんご研究所県南果樹部 主任研究員 對馬千佳子 氏

農作物はたくさんの病虫害に被害されるため、防除をしないと安定生産が実現しません。「防除」と聞くと、とかく「農薬」を連想しがちですが、防除技術には耕種的防除など農薬に頼らない方法もあります。農薬に依存しすぎると、薬剤抵抗性病虫害が発生するなどの課題もあるため、防除は、①病虫害が発生しにくい環境を整備、②防除が必要かを判断、③最適な防除方法を選択、というIPMの概念に基づいて行うことが大切です。「まず農薬」ではなく、被害を及ぼさない程度に病虫害を抑えるためにいろいろな防除技術を組み合わせること、また、農薬の使用することになった場合には、予察情報や防除情報などに基づき、発生密度に応じて適期防除を行うことが重要です。今回は、りんご、ぶどう、もも、なしのIPMの実践について説明します。

③ 取組紹介：北上 俊博 氏の取組(五戸町／特別栽培りんご)

北上氏(五戸町)はりんごの特別栽培に取組み、樹の状態や園地をよく観察して、施肥や防除のタイミング、薬剤散布方法などを工夫することで、節減対象農薬5割減・化学肥料5割減と節減対象農薬不使用・化学肥料不使用の区分で環境に配慮したりんご生産を実践しています。



<駐車場について>

- ・アスパム駐車場を御利用の場合は、半額割引券をお渡しします。
- ・県庁北棟地下駐車場は無料です(※駐車券を忘れずに会場受付へ持参してください。)

【申込方法】 以下の申込書に必要事項を記載のうえ、FAX、メールまたは郵便で、県食の安全・安心推進課へお申し込みください。 ★平成31年2月1日(金)まで★

(エコ農業学校第3回講座参加申込書)

所属/職業	氏名	住所	電話番号	作付け品目※

※生産者の方は御記入願います。